



なつのがくも

第130号 (R2. 7. 1)

練馬区立光が丘夏の雲小学校



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

今できる、今なすべきを、努むべし

校長 牧野光洋

元気な子供の声が響き渡ります。暑い毎日が続いています。一学期は今月末までです。通常的生活リズムとは異なりますが努力と我慢ですね。

かなり前になりますが、久しぶりに恩師のお宅にお伺いしたときに、恩師付きの大学生がお茶を入れながら恩師に「私は今、何を為すべきでしょうか？学生としての勉強でしょうか？それとも、自分の人生を見つめるべきでしょうか？」と尋ねていると。教授が「おいおい、しっかりとお茶を入れんかい！」と一喝。笑い話のようですが、なかなか味わい深いものがあります。今朝の朝食、何を食べたか覚えていますか？ご飯を食べながらテレビしか気にならなかったとか、他のことを考えていたとか。やはり、食事をするときには作っていただいた方に感謝の思いを込めてしっかりと戴かなければなりません。勉強するときでも、仕事でも何でも、今、自分のしていることをしっかり努める。ここに人生の充実や生き甲斐の根本があります。未来でもなく過去でもなく「今ここ」

が大切です。「そっこんたいま即今只今（を大切に）」とも言います。

過ぎ去ってしまった過去は、「こうでなかったら良かったのに」と嘆いても変わりません。思い通りにならなかった過去を、クヨクヨ思い悩むことを「愚痴」と言われます。未来のために過去を振り返り反省することは大切ですが愚痴は何の利点もなくただ体に悪いというものです。

また、未来に明るい希望をもつことは素晴らしいことですが、先のことばかり夢見て、足元がおろそかになるのも困ります。まして、まだ起こりもしない未来を心配して気持ちが沈んでしまうなどというのも考えものです。理屈では百も承知していながら、過去や未来にとらわれて「今ここ」をおろそかにしがちなのが人間の常かもません。

そこで提案です。

- ① 「これをしてほしいな。」とか「あれをしなくてはならない。」と思う中から『今できることは何か？』を考えます。
- ② その中から『今なすべきことは何か』を選んでみます。
- ③ 選んだものを自信をもって落ち着いて実行することです。

気力が充実しているときには、全力で頑張ることが選ばれるでしょう。しかし、体が疲れているときには休息が選ばれるかもしれません。時間やゆとりがある時には、将来を夢見ることが選ばれるかもしれません。逆に、静かに失敗を反省することが選ばれるときもあると思います。

ここで大切なのは、人目や人の思惑を気にする必要はありません。今を生きる人生の落とし穴に落ちないように将来を深く計画する。その大きな流れの中で、『今ここ』を



落ち着いて大切に過ごすことが重要です。「今さえ良ければ好い」という行き当たりばったりの考えとは大いに異なっていることに気付けばプラスの方向に向いていると思います。一番大事なのは「命を守る」ことと思います。梅雨、灼熱の太陽、夏、自ら守らなければならないものをしっかりと見据えて頑張らしましょう。

